

資料 2

西東京市公民館運営審議会
令和 8 年度第 2 回定例会

令和 7 年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和 8 年 6 月 17 日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	現代社会を考える講座 1990・2000年代から「いま」 を考える ～歴史に学ぶ現代社会のしく み 5～	1 月 17 日・31 日、 2 月 14 日・28 日、 3 月 14 日・28 日 土曜日 10 時から 12 時 10 分 全 6 回	延べ 375 人	「日本の戦後史を振り返ることを通して、現代社会について考える」ことをテーマに、市民主体の学び合いの場となった。 前年度までの現代社会を考える講座の参加者で世話人会を組織し、学びの場の運営を支えた。	戸邊秀明 (東京経済大学全学共通教育センター教授)
2	柳沢	ムービールーム柳沢	7 月から 1 月 第 3 水曜日 14 時から 16 時 15 分	延べ 288 人	7 月から 1 月まで、月 1 回の映画上映会を実施した。主に地域の高齢者を対象とし、定期的に通える楽しみの場となるよう固定の曜日と時間にすることで予定を立てやすくし、参加しやすい環境にすることに努めた。	嶋野寛章(日本映画大学映画学部映画学科理論コースの卒業生)

3	柳沢	【共催事業】 自主制作映画コンペティション25周年記念企画「自主制作映画の傑作上映&監督トークショー」～25年の軌跡～ ※西東京シネマ倶楽部との共催	2月14日 土曜日 13時30分から18時	延べ41人	自主制作映画コンペが25周年となることを記念して、過去の優秀作品を7本選んで鑑賞した。その後監督7人によるトークショーを行った。 来場者との活発な意見交換が行われ、西東京市の特徴的な文化としての自主コンの存在を再認識できた。	artmic8neo 田中亮丞 落合賢 成國英範 佐藤福太郎 渋谷悠 相馬雄太
4	柳沢	ライフデザイン講座 占い入門～運命は変えられるか～	2月19日 2月26日 3月5日 木曜日 19時30分から21時15分 全3回	延べ119人	「自分を生きる」をテーマとし、占いは学問であり、自己理解・他者理解を深めるための一つのツールであることを学んだ。普段の生活や人間関係等に活用することで、状況を好転させ人生を自ら切り開いていくことについて考える機会となった。 現役世代を主な対象とし、Zoomと会場のハイブリッドで実施することで、仕事などで急な変更がある学習者にも柔軟な対応を行った。	秦山 京子（東洋占術鑑定師）
5	柳沢	【共催事業】 第20回人形劇フェスタin西東京 ※人形劇フェスタin西東京実行委員会との共催	3月22日 日曜日 10時から15時40分 全4回	延べ421人	「西東京市に人形劇を根付かせたい、子ども達に人形劇の文化を届けたい」と活動する市民団体が実行委員会形式で企画・運営して開催。今回で20回目となった。人形劇の他に学生運営の「工作のおへや」を開き、家族連れの参加で、多世代交流の場ともなった。	井上幸子（人形劇団プーク）

6	田無	子育て中の人のための講座 (保育付き) 絵本とわらべうたで楽しい 子育て ～あなたもわたしもOK、あ りのままのわたしの子育て～	9月30日から3月17日 火曜日 10時から12時 17回	延べ144人	母と子の関係性を見つめ自分自身の 子育てを見直す機会となり、親子で日常 を楽しめる方法を見出す機会となっ た。自分自身を見つめ直し、無理をせ ず、自分自身を大切にしながらより良 いコミュニケーションの方法を考え直 す機会となっていた。おとなと子ども の目線・視野の違いを体感できた。異 年齢の子どもや他者とのかかわりの中 で、互いに成長する場となっていた	藤井 由利（公認心理士）、 西村説子（NPO法人CAPセン ターJAPANトレーナー） 福岡淳子（保育と人形の会、 学校司書）
7	田無	田無公民館ロビーまつり	令和8年3月8日 日曜日 ※作品展示は3月1日 から31日	延べ751人	公民館を利用する市民団体に発表の場 を提供することで、日頃の活動に対す る意欲を高めるとともに田無公民館ロ ビーまつりを創りあげるプロセスを通 して活動の幅を広げていく機会とし た。	
8	谷戸	サークル見学体験会	2月2日（月）から 3月6日（金）	延べ18人	定期で活動しているサークルに本事業 の参加を促し、見学体験会を実施し た。 参加者18名中14名がサークル（5団 体）に入会した。	参加団体：11団体

9	ひばりが丘	第17回ひばりが丘フェスティバル	3月1日(日) 9時25分から 16時30分	延べ630人	来館者層の拡大を目指し、児童生徒の発表や体験コーナーの増設、中学生の美術作品展示等を実施したことにより、小中学生や保護者の来場者が増加した。また、実行委員会をきっかけに団体間の交流が進み、複数団体のコラボ出演が実現した。そして展示団体の作品制作の様子を動画で紹介する新たな試みにも取り組んだ。現在、来館できなかった市民のために当日の様子を動画配信する準備を進め、交流の促進と情報発信の充実を図っている。	
10	ひばりが丘	子育て中の女性のための講座 「上映とトーク わたしの声を発見する」	3月15(日)、3月22(日) 10時から12時 ※3月8日(日)に保育説明会を実施	延べ29人	上映作品を通して、子ども連れで出歩く際の公共交通機関の不便さや周囲の不寛など、共通の経験や感情について語り合った。生産性や効率を優先する社会のなかで、「ケアの価値を高めるとはどういうことか」「ケアを担う人々の自尊感情の低下を防ぐにはどうしたらよいか」「ケアをする人のケアの重要性」「自分も子どもも大切にするための気づき」などについて、講師と参加者が安心・安全な場で対等に語り合った。	坂本 夏海(アーティスト) 齋藤 梨津子(文化政策研究・早稲田大学文化構想学部助手) 母親の表現活動を記録した映像作品の上映作品 『Dismantling Motherhood (母性再考)』(監督:坂本夏海、38分、2024年) 『公共空間とケアする身体』(監督:坂本夏海、12分、2025年)
11	保谷駅前	社会問題講座 人生を豊かにする秘訣～孤立しないために～	令和8年1月24日から 2月14日 土曜日 10時から12時 全4回	延べ87人	孤独になっても幸せを感じ、社会的に「孤立」しない生き方、ウェルビーイングを高める方法を学んだ。	松下元之(漢方養生学研究所、薬剤師) 石井文由(明治薬科大学 セルフメディケーション学研究室 名誉教授) 黒岩亮子(日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 教授) 高井正 (神奈川大学 非常勤講師)

12	保谷駅前	【共催事業】防災講座 避難する＋T・K・Bを考える	3月8日から3月22日 日曜日 9時30分から11時30分 ※3回目は12時30分まで 全3回 ※ほくっとネット（北 東部地域協力ネット ワーク）共催事業	延べ70人	身近に防災を感じられるよう体験型学 習を重視し、世代間交流、地域のつな がりを深められるよう具体的な防災行 動へつなげた。また、小学校や福祉施 設などの各施設と協力体制を築き、出 張公民館して実施することで、地域に 開かれた学びの場を創出した。	莊雄一郎（西東京レスキュー バード） 村上和隆（西東京レスキュー バード）
----	------	------------------------------	--	-------	--	--